

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【公開番号】特開 2019-17702 (P2019-17702A)

【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2017-138594 (P2017-138594)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 20 日 (2021.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の発射操作によって発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて特別図柄の変動表示を行い、該抽選の結果が当りの場合に、前記特別図柄を所定の当り態様で停止表示させて遊技者に利益を付与する遊技機において、

前記抽選を含めた主たる遊技の制御を行う主制御手段と、

当該遊技機の電源が投入されるときに特定の管理者操作が行われることに基づいて、前記主制御手段が行う制御に関する設定値を設定可能な設定モードを発生させる設定モード発生手段と、を備え、

前記特別図柄の変動表示および停止表示は、前記遊技盤に設けられる所定の機能表示ユニットの表示部で行われるものであり、

前記設定モード中は、前記抽選を含めた主たる遊技の進行を不能にし、前記機能表示ユニットの表示部の態様を、前記特別図柄の変動表示中および停止表示中には表示されない特殊態様に制御するものであり、

さらに、前記主制御手段を有する主制御基板を備え、

前記設定値が表示される設定値表示部は、前記主制御基板が収容されるケース内に設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、始動口に入賞した遊技球が入賞したことに基いて抽選を行うと共に表示装置に図柄を変動表示するようにし、抽選結果が大当たりとなった場合には、表示装置に大当たり図柄を停止表示して大当たり遊技状態に制御する遊技機が知られている。(例えば特許文献 1)。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

ところで、近年では設定値を搭載した遊技機等、多種多様な遊技性を持った遊技機が多数提案されているが、設定値を搭載した遊技機については改善の余地があった。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

そこで、本発明は、上記した実情に鑑み、設定値を搭載した遊技機の利便性を高めた遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

所定の発射操作によって発射された遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が始動口に入球することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて特別図柄の変動表示を行い、該抽選の結果が当りの場合に、前記特別図柄を所定の当り態様で停止表示させて遊技者に利益を付与する遊技機において、

前記抽選を含めた主たる遊技の制御を行う主制御手段と、

前記特別図柄の変動表示および停止表示は、前記遊技盤に設けられる所定の機能表示ユニットの表示部で行われるものであり、（例えば、段落1352の記載参照）

前記設定モード中は、前記抽選を含めた主たる遊技の進行を不能にし、前記機能表示ユニットの表示部の態様を、前記特別図柄の変動表示中および停止表示中には表示されない特殊態様に制御するものであり、（例えば、段落1363の記載参照）

さらに、前記主制御手段を有する主制御基板を備え、

前記設定値が表示される設定値表示部は、前記主制御基板が収容されるケース内に設けられる（例えば、段落1349の記載参照）

ことを特徴とする。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0007
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0007】

上記構成では、設定モード中は、抽選を含めた主たる遊技の進行を不能にし、機能表示ユニットの表示部を特殊態様で制御することで、遊技の進行が不能な設定モード中であることを、機能表示ユニットを通じて外部に容易に認識させることができる

【手続補正7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

このように、本発明によれば、設定値を搭載した遊技機の利便性を高めることができる

。